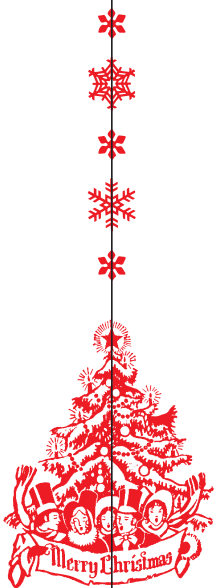


ベタニアホームという施設の名前は、聖書に出てくる地名から取られています。ルカによる福音書第10章に、ベタニアの村のある家（ベタニアのホーム）の様子が記されています。マルタとマリアという姉妹がいました。伝道の旅を続けていたイエスさま一行が、ベタニア村に入ってきました。マルタは、イエスさま一行を家へと迎えたのです。なぜ、マルタがイエスさま一行を歓迎したのかは、はっきり書かれていません。このマリアが、マグダラのマリアのことであるなら、以前、イエスさまによって救われた経験があったのでしよう。

イエスさまが語られる神の言葉を聞いて、マルタとマリアは、神の愛と恵みをいただいていたのだと思います。だから、イエスさまに感謝し、一行を大歓迎したのです。

マルタは、食事や宿泊の準備を始めました。猫の手も借りたいほどに忙しい。何で自分だけがこんなに忙しいのか。マルタはイエスさまに不平不満をぶつけます。「主よ、わたしの姉妹はわたしだけにもてなしをさせていますが、何ともお思いになりませんか。手伝ってくれるようにおっしゃってください。」



クリスマスをおめでとうございます。
新年の祝福をお祈りします。 呉ハレルヤ会一同

勤続5年10年表彰者紹介

開設記念礼拝後に表彰されました。(敬称略)
「光陰矢の如し」縁あってベタニアの皆様を支えられ、今日を迎える事が出来ました事、感謝の気持ちで一杯です。 竹田須美子

色々な事がありました。その都度、施設長をはじめ同僚に相談し解決してきました。これからもよろしくお祈りします。 山田聡子

職場環境に恵まれ、ここまで頑張ることができました。これからも、この感謝の思いを糧に頑張っていきます。 住田敬太



写真右から
住田敬太(勤続10年)
山田聡子(勤続10年)
竹田須美子(勤続10年)
宇佐香(勤続5年)
仏円美保(勤続5年)
遠藤登茂子(勤続5年)
安藤栄至(勤続5年)
原田一男(勤続5年)
西川美幸(勤続5年)
中野晃江(勤続5年)
坂原律子(勤続5年)

(9月3日開設記念礼拝メッセージ)

イエスさまに感謝し、イエスさまに喜んでもらおうと、思ってた思いを忘れてしまふ。わたしたちにそのようなことがあるものです。忙しく立ち働き、目の前にあることに没頭しているうちに、元々何のために始めたことを忘れてしまふのです。
イエスさまはマルタに言いました。「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み心乱している。しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。」マリアがしていたのはイエスさまの足もとに座り、イエスさまが語られる神の言葉を聞いていることでした。神さまがわたしたちを愛していただく。神の愛と恵みの支配がイエスさまによって始まっているという知らせです。
イエスさまは、マルタに原点を思い起こさせたのです。

ベタニアホーム20周年の記念すべき時、それは原点を再確認する時です。ベタニアホームは聖書の御言葉に聞き、祈ることから始まったのです。だから、これから先どんなにつまずくことがあっても、いつでも、聖書の御言葉に聞き、祈ることから、また始めることができるのです。

ボランティア「サランの会」紹介

ボランティア 河上啓子

ボランティア「サランの会」は、入居者の方が部屋に引きこもらず、各クラブに加わってくださることを願ってやっています。

俳句、コース、手芸、縫い物を行って来ました。また、地区の「ふれあいサロン」、デイサービスの絵手紙もしています。年一回の作品展は17回を数えます。

俳句の長尾珠鶏先生には始めから、ご指導していただきました。9年前に召されました。現在は、菅原幸人先生に、ご指導いただいています。



布きれで張り合わせた大作
ゴッホ 庭のある家
増田さか代先生 指導

手芸を18年間教えてくださった増田さか代先生は、今年7月脳出血で突然召されました。先生に教わった物は200点以上あります。印象に残っているのは、有名画家の絵を下敷に、細かく切った布きれを貼り付けて大作を完成したことです。

先生方の無償のご奉仕により、今日まで続けて来られたのだと感謝しています。

訪問看護ステーション「ユアネーム」 平成29年10月1日開設

統括施設長 里村佳子

東京都杉並区荻窪に、訪問看護ステーションを開設する事になりました。

呉ハレルヤ会にとって、初の医療分野への進出となります。

国は地域包括ケアの中で、高齢者を施設から在宅へのシフトを考えており、在宅を支えるサービスとして、訪問看護は重要な役割を担っています。全国的に見ても、東京で看護師を確保することはかなり困難ですが、5名の看護師を採用できました。キングスガーデン連合とも連携を取りながら、この事業が発展し、地域の中で世の光となる事が出来ますように、スタッフ一同、力を合わせていきます。



「ユアネーム」の外観

敬老会について グループホームベタニア

計画作成担当者 野間由里子

9月18日(月)、グループホームベタニアにて、敬老会を開催しました。

ご入居者と一緒に、お好きな和菓子を買に行き、お抹茶と共に召し上がられました。

若い頃にお茶を習っていた、ご入居者もおられ、いきいきとした表情で、自分でお抹茶を点てられました。

その後は、職員による三線の演奏と共に、「花嫁人形」や「黒田節」等を一緒に歌われました。昔歌った歌は良く覚えておられ、大きな声でのびのびと歌っておられました。

また、得意の舞を披露されるご入居者もおられ、演奏の職員にも、どんどん弾いて欲しいとアピールされる程の盛り上がりでした。

ご入居者の家族やご友人も一緒に参加され、和気藹々と笑顔があふれ、歌と笑い声に包まれた楽しい会となりました。

これからも、ご利用者が楽しみや生きがいを感じ、一日一日を大切に過ごす事ができるように、職員間で協力し、支援させていただきます。と思います。